

2023年3月23日

課題名：医師から薬剤師へ持参薬オーダ発行をタスク・シフトすることによる持参薬業務の効率化の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、入院時に持参いただく入院前の服用薬（持参薬）に関するオーダを医師から薬剤師にタスク・シフト（業務移管）することでの業務の効率化や安全面の調査を行っております。本研究では、医師からのタスク・シフトを行うことで、各職種が専門性を持ったチーム医療が実践できているかの評価を目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2022年9月から、2022年12月までの間に、循環器内科に以下の検査および治療で予定入院された方

- ・入院心臓カテーテル検査 ・経皮的冠動脈形成術 ・経皮的動脈形成術
- ・経皮的カテーテルアブレーション（心房細動）
- ・経皮的カテーテルアブレーション（心房細動以外）/電気生理検査
- ・リードレスペースメーカー埋め込み ・ペースメーカー植え込み術
- ・ペースメーカー電池交換術

◆研究に使用される情報◆

入院日、退院日、入院目的、適応パス内容、入院前使用薬剤の内容及び確認日、休薬指示内容及びその再開状況、持参薬の内容、持参薬鑑別報告書作成時刻、持参薬オーダ発行時刻、入院中の持参薬の継続および中止状況を用いて研究を行います。

◆研究方法◆

本研究は電子カルテ内から情報を収集して、利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

薬剤部 研究責任者 菅 直恵

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明